

徳島県 サステナビリティボンド・フレームワーク

1. はじめに

徳島県(以下、「本県」)は、以下のとおり、サステナビリティボンド・フレームワーク(以下、「本フレームワーク」)を策定しました。本フレームワークは、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則 2025、ソーシャルボンド原則 2025、サステナビリティボンドガイドライン 2021、環境省グリーンボンドガイドライン 2024 年版、金融庁ソーシャルボンドガイドライン 2021 年版との適合性に対するオピニオンを株式会社格付投資情報センターから取得しています。

1.1 本県概要

本県は、四国の東部に位置し、東は紀伊水道に面し、北は香川県、南は高知県、西は愛媛県に接しています。本県は、山地が多く全面積のおよそ 8 割を占めています。鳴門海峡から太平洋までの海岸線、剣山及び吉野川をはじめとする豊かな自然の下に、特色ある文化、伝統及び産業をばぐんできました。

文化・伝統につきましては、400 年の歴史を持つ「阿波おどり」が有名です。全国から大勢の観光客が訪れ、街全体が熱気に包まれます。

産業につきましては、温暖な気候と、吉野川沿いの平野を中心とした恵まれた自然環境を活かし、野菜では、「なると金時(さつまいも)」、「にんじん」、「れんこん」、果樹では「みかん」、「すだち」、「なし」などの生産が盛んです。また、酪農、肉用牛、養豚、養鶏の畜産業も盛んです。さらに、本県は瀬戸内海、紀伊水道、太平洋と性質の異なる三つの海に面しており、古くから沿岸漁業が盛んで、マダイやシラス(チリメン)、ハモ、アワビ類など、様々な魚介類を漁獲しているほか、ハマチやワカメ、ノリ類などの養殖業も盛んです。

清浄な水及び大気、良好な自然環境、潤いと安らぎのある環境等が維持され、かつ、環境への負荷の少ない循環を基調とした社会経済活動が着実に行われている活力ある社会を構築し、人と自然とが共生する住みやすい徳島の実現に向け、全国で初めて「脱炭素社会の実現」を掲げる条例を制定する等、様々な環境関連の取り組みを実施しています。

1.2 「徳島新未来創生総合計画」について

1.2.1 「徳島新未来創生総合計画」策定の趣旨

人口減少に伴う労働力不足や過疎化といった「静かなる有事」が進行し、異常気象の頻発化・激甚化など自然災害のリスクが高まっている我が国において、今後 10 年が地方の正念場、まさに「地方創生戦国時代」を迎えています。

こうした状況の中、持続可能な「未来に引き継げる県づくり」に取り組んでいくための基本指針として、「徳島新未来創生総合計画」を令和 6 年 3 月に策定しています。

1.2.2 「徳島新未来創生総合計画」の概要

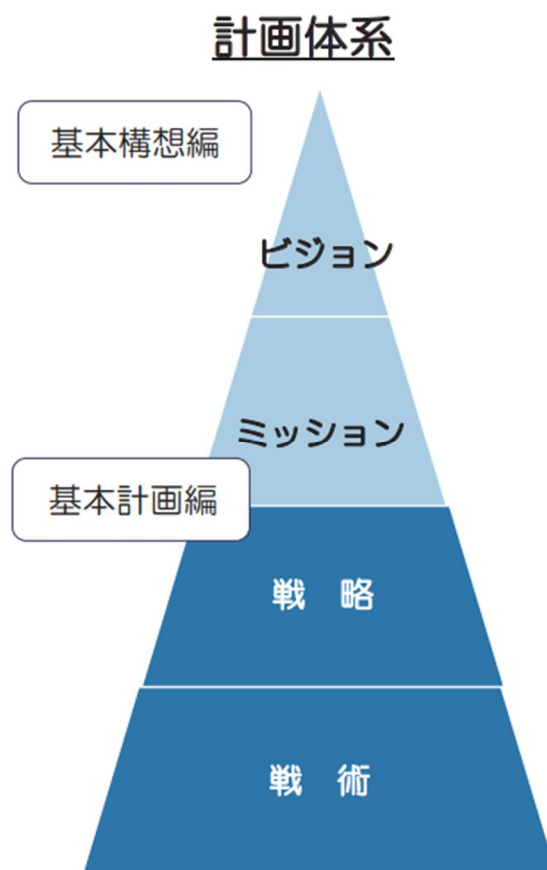
この計画は、県政運営指針として、県民の皆様と共に推進する政策の基本的な方向をまとめたものであり、本県の他の各分野の計画に対して、最上位に位置する総合的な計画として、毎年度の予算編成や事業の立案などの基本となるものです。

また、「まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)」に規定する「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」としても位置づけるものとします。

本計画は、「基本構想編」、「基本計画編」によって構成します。

「基本構想編」は本県をめぐる「時代潮流」を展望し、10年先を見据えた、本県が目指す姿となる「ビジョン」やその実現に向けて果たすべき使命となる「ミッション」、県政運営にあたっての「基本姿勢」を明らかにするものです。

「基本計画編」は、「基本構想編」を達成するために5年間で取り組む重点施策を、「戦略(ミッションを達成するための政策群)」、「戦術(戦略を実行する具体的な施策群)」、「KPI(県民の皆様が成果を実感することができる指標)」で明らかにするものです。



1.2.3 ビジョン(本県が目指す姿)

今を生きる私たちは、厳しい現状を認識し、強い危機感を持って、魅力と可能性にあふれる持続可能な地域社会を構築し、将来世代へ引き継いでいく責任があります。そのために目指すべき将来像に向けた方向性を定め、課題解決を実現する政策を実行しなければなりません。

こうした観点から、本計画では基本理念として、「未来に引き継げる徳島」の実現を掲げ、県民の皆様と共に、未来志向の挑戦を実行していきます。

基本理念となる「未来に引き継げる徳島」の実現に向けては、本県の将来を担う若者や女性をはじめ県内外の皆様から“選ばれる徳島県”となることが重要です。

こうした観点から、本計画では、地方の正念場となる今後 10 年を見据え、県内外の皆様から「ずっと居りたい」「いつも帰りたい」「みんな行きたい」と感じていただける徳島県の実現を目指します。

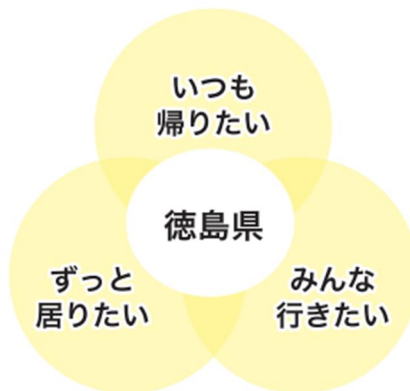


図1 目指すべき将来像

1.2.4 ミッション(果たすべき使命)



① 安心度 UP

いかなる困難もしなやかに乗り越え、誰もが自分らしく輝き、安心して豊かに暮らし続けられるよう、本県の「安心度」を高めていきます。

② 魅力度 UP

人を惹きつける本県の強みを磨き、発信しながら、県民一人ひとりの誇りや愛着を高め、にぎわいと活力を創出するよう、本県の「魅力度」を高めていきます。

③ 透明度 UP

様々な政策を展開していく土台として、持続可能な行財政運営を実現し、公平・公正で開かれた行政を推進するなど、県政運営の「透明度」を高めていきます。

1.2.5 基本計画

本県が目指すビジョンの実現に向けて、達成すべき3つのミッションのもと展開する 17 の「戦略」を設定しました。

ミッション	戦略（ミッションを達成するための政策群）	
安心度 UP	1	徳島新未来創生に向けた教育再生
	2	一人ひとりが自分らしく輝ける社会づくり
	3	切れ目のない子育て支援をはじめとした「こどもまんなか社会」の実現
	4	グリーン社会の構築
	5	健康づくりの推進と医療・介護・福祉の充実
	6	危機管理体制の充実と県土強靱化（レジリエンス）の推進
	7	県民生活の安全・安心確保
魅力度 UP	8	観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～
	9	文化芸術の振興
	10	スポーツ立県の推進
	11	攻めの農林水産業
	12	地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生
	13	労働力・後継者不足対策の推進
	14	国内外から選ばれる魅力的な地域づくり
透明度 UP	15	開かれた県政運営の推進
	16	時代のニーズに対応する県政運営体制
	17	持続可能な財政運営の推進

1.3 徳島県 SDGs 債発行の意義

徳島県 SDGs 債の発行を契機として、脱炭素社会の実現に向けた「緩和策」と「適応策」を推進するグリーンプロジェクト、ダイバーシティ社会の実現を推進するソーシャルプロジェクト双方のプロジェクトの推進を図り、徳島版 SDGs の実装を加速させます。また、本県が地球温暖化対策をはじめ SDGs の実装に率先して取り組む姿勢を明確に示すことで、地域住民や事業者の皆様の SDGs に対する意識の向上を図り、県民主体による持続可能な社会の実現に繋げてまいります。

2. サステナビリティボンド・フレームワーク

本フレームワークに基づき、以下の債券の発行ができるものとし、これらを総称して「徳島県 SDGs 債」とします。

グリーンボンド	適格グリーンプロジェクトに係る支出に充当する債券
ソーシャルボンド	適格ソーシャルプロジェクトに係る支出に充当する債券
サステナビリティボンド	適格グリーンプロジェクト及び適格ソーシャルプロジェクトに係る支出に充当する債券

2.1 調達資金の用途

(1) 適格プロジェクト

徳島県 SDGs 債の発行により調達された資金は、ICMA によるグリーンボンド原則 2025 及びソーシャルボンド原則 2025 における事業区分のうち以下に挙げるものを本県のグリーン適格またはソーシャル適格プロジェクト分類とし、該当するプロジェクト分類に係る新規事業資金及び借換資金に充当します。借換の場合は、グリーン適格プロジェクトのうち、環境改善効果を定量的にレポートすることが可能な資産の取得資金を対象とします。

対象の適格プロジェクト例は表のとおりです。

グリーンプロジェクト		
グリーンボンド原則 プロジェクトカテゴリーと 環境目標(グリーン適格 プロジェクト分類)	適格プロジェクト例	貢献する SDGs
再生可能エネルギー 環境目標: 気候変動の緩和	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設への再生可能エネルギー設備(太陽光発電設備や蓄電池等)導入 	7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を
エネルギー効率 環境目標: 気候変動の緩和	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設における高効率機器(LED等)の導入 県有施設の ZEB 化またはそれに準ずる省エネ化 	
クリーン輸送 環境目標: 気候変動の緩和	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮車の購入 	
生物・自然資源および 土地利用に係る環境持 続型管理 環境目標: 生物・自然資源の保全	<ul style="list-style-type: none"> 水域環境保全(藻場の造成) 森林整備 林道整備 	11. 住み続けられるまちづくりを 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう

グリーンプロジェクト		
グリーンボンド原則 プロジェクトカテゴリーと 環境目標(グリーン適格 プロジェクト分類)	適格プロジェクト例	貢献する SDGs
気候変動に対する適応 環境目標: 気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水対策 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 河川改修・改良・維持補修 ➢ 老朽ため池等整備 ・ 高潮対策 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 海岸保全施設整備 ・ 土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 治山(地すべり防止、急傾斜地崩壊対策) ➢ 砂防 	11. 住み続けられるまちづくりを 13. 気候変動に具体的な対策を

ソーシャルプロジェクト			
ソーシャルボンド原則 プロジェクトカテゴリー (ソーシャル適格 プロジェクト分類)	適格プロジェクト例	対象となる人々	貢献する SDGs
手ごろな価格の基本的 インフラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理・防災体制の再構築 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 災害活動拠点施設の受変電設備の更新等 	自然災害の罹災者	11. 住み続けられるまちづくりを 13. 気候変動に具体的な対策を
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して住み続けることができるまちづくりへの貢献 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県有施設の老朽化・防災対策 	地域住民・企業	11. 住み続けられるまちづくりを
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括的な地域コミュニティの実現 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 新ホール整備 	地域住民・企業	11. 住み続けられるまちづくりを

ソーシャルプロジェクト			
ソーシャルボンド原則 プロジェクトカテゴリー (ソーシャル適格 プロジェクト分類)	適格プロジェクト例	対象となる人々	貢献する SDGs
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い持続可能で豊かな生活の実現 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 緊急避難場所や指定避難場所等の整備 ➢ 農業水利施設の老朽化対策 ➢ 漁港施設整備 ➢ 水産物供給基盤機能保全 ➢ 長寿命化計画に基づく施設整備(河川管理施設、道路・橋りょう、海岸堤防等) ➢ 橋りょうの修繕や震災対策 ➢ 公園施設の防災機能の強化 ➢ 港湾補修 ➢ 災害対策拠点施設の長寿命化 	地域住民・企業 自然災害の 罹災者	11. 住み続けられるまちづくりを
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 歩道の整備や交差点改良 ➢ 非常用信号機電源付加装置の整備 	地域住民・企業 障がい者(児) 自然災害の 罹災者	11. 住み続けられるまちづくりを
必要不可欠なサービスへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーの推進・多様性を重視する共生社会の実現 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 多目的トイレ、車いす席、エレベーター等の整備 	地域住民・企業 高齢者と脆弱な若者 障がい者(児) 女性 性的及びジェンダーマイノリティ	10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを

ソーシャルプロジェクト			
ソーシャルボンド原則 プロジェクトカテゴリー (ソーシャル適格 プロジェクト分類)	適格プロジェクト例	対象となる人々	貢献する SDGs
	<ul style="list-style-type: none"> 児童が安心・安全に過ごし、多様な活動を行うことができる環境の実現 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 児童館整備 	こども	4. 質の高い教育をみんなに
手ごろな価格の基本的 インフラ設備 必要不可欠なサービス へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる人々の教育機会の確保 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県立学校施設の長寿命化 	こども 障がい者(児)	4. 質の高い教育をみんなに
	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児(者)の安心・安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 社会福祉施設等における施設整備(補助含む) 	障がい者(児)	10. 人や国の不平等をなくそう
必要不可欠なサービスへのアクセス 社会経済的向上とエンパワメント	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティの推進 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県立支援学校における施設整備 ➢ 精神障がい者地域共生総合支援 	障がい者(児)	4. 質の高い教育をみんなに 10. 人や国の不平等をなくそう
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 道路のバリアフリー化(視覚障がい者用付加装置、高齢者等感応化、歩行者支援装置の整備) 	地域住民・企業 障がい者(児) 自然災害の罹災者	11. 住み続けられるまちづくりを
手ごろな価格の住宅	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる人々が健康で文化的な生活を営むに足る住まいの確保 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県営住宅建設 	県営住宅を必要とする人々	3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを

(2) 除外基準

徳島県 SDGs 債の発行により調達された資金は、下記に関連するプロジェクトには充当しません。

- ・ 所在国の法令を遵守していない不公正な取引、贈収賄・腐敗・恐喝・横領等の不適切な関係
- ・ 人権・環境等社会問題を引き起こす原因となり得る取引

2.2 プロジェクトの評価及び選定のプロセス

適格プロジェクトは、企画総務部 財政課が各部局にヒアリングを行い、環境・社会面での便益が見込まれるか等、適格性の検討を行うことにより選定し、財政課長が最終的に決定します。

また、適格プロジェクトについては、各種法令等に沿って適切に対応し、潜在的にネガティブな環境面・社会面の影響に配慮しています。

2.3 調達資金の管理

(1) 調達資金の紐づけ方法と追跡管理の方法

地方自治法第 208 条に基づく会計年度独立の原則に基づいて、地方公共団体における各会計年度における歳出はその年度の歳入(地方債によって調達された資金もこれに含む)をもってこれに充てられます。従って、徳島県 SDGs 債の発行により調達された資金は、当該会計年度中に適格プロジェクトに充当されます。

なお、各適格プロジェクトの充当状況については、企画総務部 財政課と各部局予算決算担当課が連携して、充当状況の把握を行い、発行超過等が起こらないよう、適切に管理します。

会計年度の終了時には、適格プロジェクトを含む徳島県の全ての歳入と歳出について執行結果と決算関係書類が作成され、県の監査委員による監査を受けます。その後、決算関係書類は監査委員の意見を付して県議会に提出され、承認されます。

(2) 調達資金の追跡方法に係る内部統制

徳島県 SDGs 債の発行により調達された資金は、徳島県の会計制度に基づいた歳入予算の経理区分で分類するとともに、帳簿上に資金使途と支出額を明確に示します。

(3) 未充当資金の管理方法

未充当資金が発生した場合には充当されるまで、徳島県公金管理指針に基づき、現金または安全性の高い金融資産で運用します。

2.4 レポーティング

(1) 資金充当状況レポーティング

資金を充当したプロジェクト名及び充当金額については、本県のウェブサイト上において、起債した年度の翌年度に開示します。なお、充当状況について、当初想定から大きな状況の変化が生じた場合は、速やかに開示します。

(2) インパクト・レポーティング

資金を充当したプロジェクトの実施により得られた以下の環境改善効果及び社会的成果に関する指標等を、実務上可能な範囲で、本県ウェブサイトにて少なくとも起債した年度の翌年度に開示します。なお、プロジェクトについて、当初想定から大きな状況の変化が生じた場合は、速やかに開示します。

グリーンプロジェクト		
グリーン適格プロジェクト分類	適格プロジェクト例	レポート項目例
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設への再生可能エネルギー設備(太陽光発電設備や蓄電池等)導入 	<ul style="list-style-type: none"> CO2 排出削減量 (t-CO2) 再生可能エネルギー使用量(kWh) 導入台数
エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設における高効率機器(LED等)の導入 県有施設のZEB化またはそれに準ずる省エネ化 	<ul style="list-style-type: none"> CO2 排出削減量 (t-CO2) ZEB 認証水準 BEI の数値 導入数
クリーン輸送	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮車の購入 	<ul style="list-style-type: none"> CO2 排出削減量 (t-CO2) 導入数
生物・自然資源および土地利用に係る環境持続型管理	<ul style="list-style-type: none"> 水域環境保全(藻場の造成) 森林整備 林道整備 	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所名 箇所数 整備面積(ha) 林道開設・改良・舗装実績(m) 漁獲増加量
気候変動に対する適応	<ul style="list-style-type: none"> 浸水対策 <ul style="list-style-type: none"> 河川改修・改良・維持補修 老朽ため池等整備 高潮対策 <ul style="list-style-type: none"> 海岸保全施設整備 土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> 治山(地すべり防止、急傾斜地崩壊対策) 砂防 	<ul style="list-style-type: none"> 整備施設名 箇所数 整備内容 河川整備延長(km) 想定被害減少効果(戸数・人口・面積等)

ソーシャルプロジェクト				
ソーシャル適格プロジェクト分類	適格プロジェクト例	レポート項目例		
		アウトプット	アウトカム	インパクト
手ごろな価格の基本的インフラ設備	<ul style="list-style-type: none"> 災害活動拠点施設の受変電設備の更新等 	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所数 	危機管理・防災体制の再構築
	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設の老朽化・防災対策 	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 	安心して住み続けることができるまちづくりへの貢献

ソーシャルプロジェクト				
ソーシャル適格プロジェクト分類	適格プロジェクト例	レポート項目例		
		アウトプット	アウトカム	インパクト
	<ul style="list-style-type: none"> 新ホール整備 	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 	包括的な地域コミュニティの実現
	<ul style="list-style-type: none"> 緊急避難場所や指定避難場所等の整備 農業水利施設の老朽化対策 漁港施設整備 水産物供給基盤機能保全 長寿命化計画に基づく施設整備（河川管理施設、道路・橋りょう、海岸堤防等） 橋りょうの修繕や震災対策 公園施設の防災機能の強化 港湾補修 災害対策拠点施設の長寿命化 	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 自治体との防災協定締結実績 整備箇所数 	災害に強い持続可能で豊かな社会の実現
	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の整備や交差点改良 非常用信号機電源付加装置の整備 	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故死者数 整備箇所数 整備箇所 	交通安全対策の推進
必要不可欠なサービスへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> 多目的トイレ、車いす席、エレベーター等の整備 	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター、車いす用駐車場、多目的トイレ等の設置数 	バリアフリーの推進・多様性を重視する共生社会の実現
	<ul style="list-style-type: none"> 児童館整備 	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 	児童が安心・安全に過ごし、多様な活動を行うことが出来る環境の実現

ソーシャルプロジェクト				
ソーシャル適格プロジェクト分類	適格プロジェクト例	レポート項目例		
		アウトプット	アウトカム	インパクト
手ごろな価格の基本的インフラ設備 必要不可欠なサービスへのアクセス	・ 県立学校施設の長寿命化	実施内容	・ 整備箇所数	あらゆる人々の教育機会の確保
	・ 社会福祉施設等における施設整備(補助含む)	実施内容	・ 災害や感染症の流行等の緊急時における障がい児(者)の受入れ可能人数	障がい児(者)の安心安全の確保
必要不可欠なサービスへのアクセス 社会経済的向上とエンパワーメント	・ 県立支援学校における施設整備 ・ 精神障がい者地域共生総合支援	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者数 ・ 個別指導計画の目標達成率 ・ 技能検定受検者数 ・ 地域と共にSDGs達成に向け取り組んだ活動回数 ・ カフェ等、社会体験のための施設の利用者数 ・ グループホーム入所者数 ・ 地域生活移行者数 	ダイバーシティの推進
	・ 道路のバリアフリー化(視覚障がい者用付加装置、高齢者等感応化、歩行者支援装置の整備)	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事故死者数 ・ 整備箇所 	交通安全対策の推進

ソーシャルプロジェクト				
ソーシャル適格 プロジェクト分類	適格プロジェクト例	レポート項目例		
		アウトプット	アウトカム	インパクト
手ごろな価格の 住宅	・ 県営住宅建設	実施内容	・ 改修戸数	あらゆる人々が 健康で文化的 な生活を営む に足る住まい の確保

以 上